

第 52 回全国農業経営者研究大会 開催要領

「食と農を国の基軸とし、食料安全保障を確立する」

◆ 趣 旨 ◆

2022 年は「食料安全保障の強化」に関する議論が巻き起こる年となった。ロシア・ウクライナ危機は、両国が世界の小麦輸出の約 3 割を占めることから、食料危機の懸念を招いた。国連の推計では、世界人口は 80 億人を突破し、今後世界の食糧事情はさらにひっ迫することが予測される。

また、世界的な情勢不安や近年にない円安などを背景に物価・資材価格は高騰し、国民生活への影響はもちろん、国内の農業生産構造の脆弱性を改めて浮き彫りにした。我が国では、農業者の減少と高齢化、農地の減少などの農業生産基盤の弱体化が進行し、食料自給率は低迷しており、自然災害等のリスクも付きまとう。

こうした情勢も踏まえ、1999 年に制定されて 20 年以上が経過する「食料・農業・農村基本法」の抜本的見直しの検討が、現在進められている。

国民生活の安全・安心を担保するためにも、食料安全保障の強化・確立が急務となっており、国民の理解の下、国内生産で食料自給率を向上させることが喫緊の課題である。具体的には、輸入依存度の高い小麦・大豆・飼料用作物などの増産、国民理解の醸成・行動変容、再生産可能となる適切な価格形成の実現といった事柄を推進しなければならない。

「食と農は国の基軸」であり、本研究大会では、厳しい環境での営農が求められるなか、国民への食料供給という生命産業を担う農業経営者として、食料安全保障の議論を踏まえ、いかに考え行動していくべきか、その方策を探ることとする。

◆主 催 一般社団法人 全国農業会議所
全 国 農 業 経 営 者 協 会
全 国 認 定 農 業 者 協 議 会

◆後 援 全 国 農 業 新 聞
全 国 農 業 図 書

1. 日 時

1日目 全体会 令和5年2月1日（水）13時～17時

2日目 分科会 2日（木）※時間は次ページ参照

2. 会 場

A P 東京八重洲

住所：〒104-0031 東京都中央区京橋 1-10-7

3. 開催方式

A P 東京八重洲での参加（最大 190 名）

オンラインによる配信（YouTube Live 又は Zoom で調整中）

4. 日 程

<第1日目> 2月1日（水）13時00分～17時00分

会場：7階P・Q・Rルーム

（1）開 会（13時00分）

（2）主催者挨拶（13時00分～13時20分）

（3）全 体 会

1）基調講演（13時20分～14時50分）

題 目：「食と農を国の基軸に」

講 師：多摩大学学長、一般財団法人日本総合研究所会長 寺島 実郎 氏

《 休憩 》

2）情勢報告（15時00分～15時30分）

題 目：「食料・農業・農村基本法の見直しについて」

講 師：一般社団法人全国農業会議所 柚木 茂夫 専務理事

3）パネルトーク（15時30分～17時00分）

テーマ：食料安全保障の確立に向け、農業経営者としてどう考え行動するか

《第1日目終了》

<第2日目> 2月2日（木）

（１）米政策分科会 企画：全国稲作経営者会議	会場：13階A・Bルーム 時間：9:30～12:00
①改正農業経営基盤法による地域計画の策定について 農林水産省経営局経営政策課 日向 彰 課長 一般社団法人全国農業会議所 農地・組織対策部 佐藤 陽平 農地利用最適化担当部長 ②海外輸出事業の取組とこれから 株式会社アグベル 代表取締役 丸山 桂佑 氏	
（２）養鶏分科会 企画：全国養鶏経営者会議	会場：12階F・Gルーム 時間：9:30～12:00
①物流の2024年問題について 公益社団法人 全日本トラック協会 役員待遇企画部長 星野 治彦 氏 ②鶏卵の消費促進について 株式会社愛鶏園 代表取締役会長 齋藤 大天 氏 ～終了後、13:00より拡大正副会長会議（同会議会員のみ）～	
（３）肉用牛分科会 企画：全国肉用牛経営者会議	会場：10階Wルーム 時間：10:00～12:00
「農事組合法人飛騨牛繁殖センターにおける肉用牛繁殖の取組」 農事組合法人飛騨牛繁殖センター センター長 上坪 庄一 氏 ～終了後、2023年度通常総会（同会議会員のみ）～	
（４）都市農村交流分科会 企画：農のふれあい交流経営者協会	会場：10階Xルーム 時間：10:00～12:00
「農業における気候変動問題への対応について」（仮） 元日本気象協会（調整中） ～開会前、2023年度通常総会（同協会会員のみ）～	

5. 参加対象

- 1) 全国農業経営者協会・県農業経営者組織の会員及び関係機関・団体の関係者等
- 2) 認定農業者および認定を目指す農業者
- 3) 全国農業経営者組織連絡協議会の構成団体会員
- 4) その他自立的な農業経営者およびその関係者、従業員等

6. 参加費

現地参加	①研修会費 10,000 円（会場費・資料費・講師経費など） ※全体会のみ：7,000 円、分科会のみ 3,000 円 ②交流会費 6,000 円
ウェブ参加	①研修会費 5,000 円（資料費・講師経費など） ※全体会のみ 4,000 円、分科会のみ 1,000 円

参加申込書を確認したら、参加費の請求書をPDFでメール送信いたします。金額をご確認の上、請求書記載の口座へお振り込みください。

【振込に関するお願い】

※参加費は、可能な限り各県経営者組織事務局（農業会議）、団体、企業でそれぞれ取りまとめてお振り込みください。

※部門別経営者組織の個人会員は、個別にお振り込みください。

※領収書の発行は、銀行振込明細書をもって代えさせていただきます。別途必要な場合は、お申し出ください。

7. 参加申込について

参加申し込みについては、別紙申込書に必要事項をお書きいただき、都道府県農業会議、県農業経営者組織を通じて、一般社団法人全国農業会議所経営・人材対策部宛にご報告ください。

申込締め切り：令和5年1月25日（水）

8. その他

- 1) 会場参加の方は、感染症対策のため、マスク着用や手指の消毒など、感染防止策にご協力をお願いします。
- 2) 新型コロナウイルスの感染拡大などやむを得ない事情によりプログラムや開催方式を変更する場合があります。その際には都道府県農業会議への連絡や全国農業会議所ホームページなどで事前にお知らせします。
- 3) 反社会的勢力に該当すると認められる場合は、お申し込みを受け付けすることができません。
- 4) お申し込み多数の場合、ご参加人数の調整をお願いすることがございます。
- 5) やむを得ない事情により、予告なくプログラムに変更が生じる場合がございます。
- 6) 録音、撮影、キャプチャ、スクリーンショットはご遠慮ください。
- 7) ご記入いただいた氏名、住所、電話番号、その他の個人情報は、当会の「個人情報の取り扱いについて」(<https://www.nca.or.jp/contact/#contact1>)に従って適切に取り扱います。

- 8) お預かりした個人情報、当協会において本大会の運営及び連絡、今後のセミナーなどのご案内、企画の参考の目的に限って利用し厳重に管理します。

＜この件に関する問い合わせ・参加申込先＞

〒102-0084 東京都千代田区二番町 5－6

全国農業経営者協会【事務局：一般社団法人全国農業会議所 経営・人材対策部】

担 当：青木（大会全般、米政策、都市農村）、小嶋（養鶏、肉用牛）

T E L：03-6910-1124 F A X：03-3265-5140 E-mail：ninaite@nca.or.jp